楽しむ予防歯科 11

今の時代に金歯？

文 飯塚宏明
text by Hiroaki Iizuka
飯塚歯科 院長

「銀歯が取れたら何を詰めましょう？」
「さっき銀歯が取れたのですが…」
果たして取れたのは銀歯でしょうか？それは前号で書いた高価で危険な金属、パラジウム合金です。では何を詰めれば良いでしょうか？

BIG BOSSみたいな白いセラミックスでしょうか？飯塚歯科では見えない所であれば、GOLDをお勧めしています。

「えっ！金歯⁉」「この時代に⁉」
そう、この時代だからGOLDです。
なぜでしょう？

GOLDは4000年も前の時代から使われていて、いまだに使われています。おそらく金も銀も土も木の実も詰めてきた中で自然淘汰され、唯一残ってきたのがGOLDだと思います。ここ100年くらい、科学者がアレルギー性が低い、加工精度が高い、耐久性がある、展延性があるため辺縁の封鎖性が高いなど、いろいろな理由を考えてくれました。

GOLDとセラミックスの大きな違いは弾性と展延性があるかどうか、と思います。GOLDは大きな力がかかった時に、たわんで元に戻る弾性があります。これに対してセラミックスは弾性がなく、相手を跳ね返すか、自分が割れてしまうかになります。

また、人の歯はいつまでも同じ形ではなく、使っているうちに磨耗して平らになっていきます。

GOLDは金箔細工を思い浮かべれば分かるように、大きな力がかかると分子間力で結晶構造の形を変えながら伸びていってくれます。これにより詰め物の回りの歯の形が変わっても、GOLDは回りをふさぎ続けることができます。セラミックスにはこの展延性がないため、端は細かく欠けながら隙間が出来ていきます。

事実、私自身25年前までは「歯医者は白い歯」と思い、全部セラミックスでした。25年前に恩師の丸茂義二先生にGOLDの素晴らしさを教えられ、すべてGOLDに詰め替えました。

入れた途端の感激は今でも鮮明に覚えています。

「ああっ！なんて柔らかいのだろう⁉」
それまでのカツカツというソリッドな噛み心地から、グッとたわむ柔らかい心地よい噛み心地に一瞬で変わりました。さらにその後25年間一度も治療を受けることなく、ノントラブルで今日まで使えています。

流行りはセラミックス。流行りはノンメタル。でも、このノンメタルのメタルは高価で危険なパラジウム合金のことです！長い時間をかけて自然淘汰されずいまだに良いもの、それがGOLDだと思います。

自分の歯を長く持たせたいのなら、GOLDという選択肢を考えてはいかがでしょうか？

Profile

1959年　神奈川県小田原市の米屋の長男に生まれる
1985年　日本歯科大学歯学部卒業
1988年　バイクで通勤中トラックと衝突し第1頚椎及び右手首粉砕骨折、絶対安静6カ月の入院生活を送る～ 医療従事者でありながらベッドの上で何もできない自分に出会い、これがきっかけで身体全体を考えるようになる～
1990年 千代田区神田神保町に「飯塚歯科」開設
趣味：ダイビングもうじき800本、サーフィン60歳でサーフィン始めて毎週通う。
音楽：ボサノバ－セルジオメンデス＆ブラジル66、JAZZ-Idea6、J-POP－中森明菜